

校区的特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 海・山・川の自然がすべて揃っている
- 自然を活用したイベントが盛んに行われている
- 海がきれいで魚がおいしい
- 香貫山からの眺望など景観が素晴らしい など

2. 生活の利便性が高い

- 車での交通アクセスが良い
- 日常生活に必要な施設がある など

3. 地域住民のつながりが良い

- 地域住民のふれあいがありあたたかい
- あいさつなどの声掛けがある など

校区的課題

1. 魅力的な商店や施設が少ない

- 病院や個人商店、公園などが少ない
- 若者が集まれる施設や場所がない など

2. 道路・交通環境に課題がある

- 公共交通機関（バス）が少なく車がないと不便
- 道が狭くて危険 など

3. 災害対応に不安がある

- 津波対策に不安がある
- 災害対策に関する情報が不十分 など

4. 生活環境に問題がある

- たばこの吸い殻などゴミのポイ捨てが多い など

校区的まちづくりの方向

1. 活気あふれるまち

- ① 人が集まるまちづくり
 - 地域のイベントを活発にする
- ② 情報発信を強化する
 - SNSなどを様々な手段で積極的に情報発信する
 - 若い人に話題性のある情報を発信する
- ③ 民間企業と連携したまちづくり
 - 企業誘致や起業支援を進める

2. 交通の利便性の高いまち

- ① 公共交通での回遊性を高める
 - 中型化などによる路線バスの本数の充実
 - 地区循環バスやコミュニティバスの運行
- ② 車でも生活しやすいまち
 - 静浦バイパス開通に向けた渋滞対策などを進める

3. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 子育てしやすいまち
 - 自然環境を活用した子育て環境の充実
 - 幼稚園などの子育て施設の充実
- ② まちの環境美化を進める
 - 海岸線の清掃作業を奨励する
 - 地域住民によるゴミ拾いを強化する
 - 子どもが参加する清掃活動を進める

校区的特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 沼津アルプスは地域の重要資源
- のどかな田園風景が広がっている
- 野菜や米など豊かな農産物に恵まれている など

2. 歴史的な地域資源がある

- 中将さんや大平新城跡などの歴史資源がある など

3. 交通の利便性が高い

- バスを利用しての移動が便利
- 他市町に隣接していて車のアクセスが良い など

4. 地域住民のつながりが良い

- コミュニティ活動が盛んに行われている
- あいさつが盛んでご近所付き合いが良い など

校区的課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 子どもが校区から転出してしまう
- 担い手不足などコミュニティ活動の今後が心配 など

2. 日常生活に不便がある

- 病院や金融機関が少ない
- コンビニのみでスーパーがない など

3. 安全・安心に課題がある

- 水害対策に不安がある
- 交通量が増えたことにより歩行者が危険
- 街灯が暗く夜道が危険
- 農業用の側溝が歩行者にとって危険
- 同報無線が聞こえにくい など

校区的まちづくりの方向

1. 豊かな自然環境を活かしたまち

- ① 沼津アルプスの整備を進める
 - ・ 登山道を整備する
 - ・ 駐車場や休憩施設を整備する
- ② 自然を活用したイベントを開催する
 - ・ 散策など沼津アルプスでのイベントの検討
 - ・ 野菜の販売会など農業と関連したイベントの開催

2. 交通の利便性の高いまち

- ① バスによる利便性を高める
 - ・ 駅に接続するバス路線の検討
 - ・ パスや特典などバスの利用者と運行本数を増やす仕組みづくり
- ② 道路交通の利便性を高める
 - ・ 伊豆中央道への連絡など道路整備を進める

3. 安全・安心なまち

- ① 安全な道路整備を進める
 - ・ 信号機等の安全施設を設置する
 - ・ 側溝にフタを設置する
- ② 防災対策を進める
 - ・ ブロック塀の倒壊対策を進める
 - ・ 地域の危険箇所と避難所の周知を図る
 - ・ 災害時の連絡体制を強化する

4. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 子育てのしやすいまち
 - ・ 教育機関（幼稚園・小・中学校）の連携強化
 - ・ 母子の居場所づくりなど子育て支援の強化
- ② 持続可能なコミュニティづくり
 - ・ 少子高齢化に合わせたコミュニティ活動のスリム化
 - ・ 高齢者の力を活用する

✎ 校区の特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 志下海岸など海を楽しむ環境がある
- 沼津アルプスで登山やクライミングができる
- 釣りスポットが多く水産業が盛ん
- 一年を通して気候が温暖
- 富士山を望む景色が素晴らしい など

2. 静浦小中一貫学校がある

- 新しい校舎はデザインが良い
- 旧静浦中などがロケ地として使われている など

3. 地域住民のつながりが良い

- 八幡さんのお祭りなどで盛り上がる
- 地域住民のつながりが強い など

✎ 校区の課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 人口減少が明らかに進んでいる
- 校区に若い人が少ない など

2. 消防団の担い手不足

- 消防団のなり手が少ない
- 活動のボランティア要素が強すぎる など

3. 日常生活に不便がある

- 商店が近くにない など

4. 道路・交通環境に課題がある

- バスの運行本数が少ない
- 道路の幅員が狭い
- 信号無視など交通マナーが守られていない など

✎ 校区のまちづくりの方向

1. 豊かな自然環境を活かしたまち

- ① 自然を活かしたまちづくり
 - ・ 自然資源を活かした観光業の推進
- ② 自然をしっかり守る
 - ・ 自然環境を保全する維持管理の仕組みづくり
 - ・ 清掃活動の強化

2. 活気あふれるまち

- ① 新しい魅力づくり
 - ・ ラブライブなど新しいコンテンツとの連携
 - ・ 水族館など目玉となる施設の検討
 - ・ 旧静浦中学校の活用を進める
- ② 効果的な情報発信
 - ・ 地域資源を広く全国に向けて発信する
 - ・ 地域資源のブランド化を図る

3. 公共交通の利便性を高める

- ① 交通網を改善する
 - ・ バスや電車など陸の公共交通を整備する
 - ・ フェリー（定期船）など海の公共交通の検討

4. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 外国人住民が暮らしやすいまち
 - ・ 多様な文化を受け入れる風土の醸成
 - ・ コリアタウンのような外国人主体のまちの形成
- ② 消防団活動がしやすいまち
 - ・ 手当などを含めた消防団員確保のための環境づくり
 - ・ 消防団活動のPR

校区的特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 自然に囲まれ空気・水がおいしい
- みかんやアジなど新鮮な食物に恵まれている
- 海岸や富士山の眺めが良い
- 温暖な気候 など

2. 観光客でにぎわっている

- ラブライブや水族館などで観光客が多い
- 長浜城跡がきれいに整備されている など

3. 地域住民のつながりが良い

- あいさつなど声の掛け合いがある
- ご近所付き合いが良い など

校区的課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 人口減少が進んでいる
- 校区に若い人（子ども）が少ない など

2. 道路・交通環境に課題がある

- 交通の利便性が悪く生活に車が不可欠
- 夏季の渋滞がひどい など

3. 災害対応に不安がある

- 防災施設が不十分で地震・津波が心配 など

4. 生活環境に問題がある

- 商店が少なく買い物が不便
- みかん園の耕作放棄地が多い
- 海岸にゴミが多い など

校区的まちづくりの方向

1. 地域資源を活かしたまち

- ① 海岸や道路の環境整備を進める
 - 海岸や歩道に花や緑を増やす
 - 地域の清掃を強化する
- ② 歴史資源を保存する
 - 祭りのお囃子など歴史資源を保存する

2. 活気あふれるまち

- ① 商店や企業を誘致する
 - 飲食店など新規の企業を支援する
 - IT産業を呼び込む
- ② 観光対策に力を入れる
 - アニメなどのブームを積極的に活用する
 - 観光地としての施設整備を進める
- ③ 新たな名産品をつくる
 - 地域の名産品をつくってアピールする

3. 交通の利便性の高いまち

- ① 道路整備を進める
 - 電線の地中化などで電柱を撤去する
 - 道路の新設などで高速道路からのアクセス向上
 - 街灯の整備などで夜間通行の利便性を高める

4. 安全・安心なまち

- ① 耕作放棄地・空き家対策を進める
 - 空き家を活用した移住の促進
 - 畑の貸付けの促進
- ② 防災対策を強化する
 - 居住地付近の崖の補強を進める
 - 高台への避難階段を増設する

校区的特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 海・山に囲まれ風光明媚
- 海越しの富士山を望む景観が素晴らしい
- サイクリングやマリンスポーツなど自然を楽しめる
- 地域の特産品として美味しいみかんがある など

2. 住みやすい環境

- 静かで暮らしやすい
- 安心して子育てできる など

3. 地域住民のつながりが良い

- 地域住民の人柄が穏やか
- ご近所のつながりが強い など

校区的課題

1. 少子化が進んでいる

- 地域の子どもが減っている など

2. 日常生活に不便がある

- 商店がなく買い物が不便
- 通学・通院が遠くて大変
- 公共交通の利便性が低い など

3. 基盤整備に課題がある

- 道路が狭く歩行者・自転車の通行が困難
- 市街化調整区域のため開発が進まない など

4. 生活環境に問題がある

- 塩害や害虫の多さに困っている
- コミュニティ活動への参加が負担になっている など

校区的まちづくりの方向

1. 地域資源を活かしたまち

- ① 自然を活用した新たな施設を整備する
 - ・ サイクリストの拠点を整備する
 - ・ アクティビティの拠点施設をつくる
- ② 地域の特産品の活用を進める
 - ・ 特産品（みかん品種ゆら）などのPRを強化する
 - ・ 地元の間伐材を使ったサイクルラックなどの製作
- ③ 遊休資産等の活用を進める
 - ・ 西浦保育所跡地の活用を検討する
 - ・ らららサンビーチの時期外の活用を検討する
- ④ 地域の魅力の情報発信を強化する
 - ・ SNSなど様々な手段で積極的な情報発信を行う

2. 交通の利便性の高いまち

- ① 公共交通の利便性を高める
 - ・ マイクロバスの運行などで路線バスを充実させる
 - ・ 海上交通など新たな公共交通を検討する

3. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 子育てのしやすいまち
 - ・ スポーツなど子どもが成長できる環境を整備する
- ② 安心を実感できるまち
 - ・ 教育、就労、健康などでの安心な生活環境づくり
- ③ コミュニティ活動の充実を図る
 - ・ 住民の意見を広くコミュニティ活動に取り入れる
 - ・ 住民の活動（活躍）の場をつくる

校区的特徴

1. 豊かな自然環境がある

- 海、白浜がきれいで富士山を望む景観も良い
- タカアシガニや深海魚など海の幸が豊富
- 立花やシキビなど有名な農作物がある
- 豊かな自然環境で子どもがのびのび育つ など

2. 地域の歴史がある

- 重要文化財の松城邸がある
- 洋式帆船の発祥の地 など

3. 地域の産業がある

- 民宿や釣り船など観光業がある
- イワシやカツオなどブランド化できる水産業がある など

校区的課題

1. 少子高齢化が進んでいる

- 子どもが減り若者も転出してしまう
- 高齢化で限界集落になってしまわないか不安 など

2. 日常生活に不便がある

- 病院などの必要な施設が少ない
- 地域に働ける場所が少ない など

3. 道路・交通環境に課題がある

- バスの路線や運行本数が不十分
- タクシーが少なく利便性が悪い
- 自家用車がないと出かけられない
- 道が整備されていない など

校区的まちづくりの方向

1. 地域資源を活かしたまち

- ① 自然環境を守る
 - 清掃活動を強化しきれいな海を守る
- ② 地域の魅力をPRする
 - ふるさと納税を活用して地域資源のPR
 - ヘダトロハンペンなどB級グルメをPRする
 - 戸田弁（方言）など戸田らしさをPRする

2. 活気あふれるまち

- ① 戸田への移住者を増やす
 - 移住関係のTV番組放映の影響を活用する
 - 地域住民で移住者を迎え入れる環境をつくる
- ② 情報発信を強化する
 - SNSなど様々な手段で地域の情報を発信する

3. 住民が住みやすさを感じるまち

- ① 交通の利便性を高める
 - 道路整備を進める
 - 公共交通の利便性を高める
- ② 地域の人材を活用する
 - 住民ボランティアを募集する
- ③ 地域活動への理解を深める
 - 消防団の活動内容を周知する
 - 地域活動が住民に与えるメリットを伝える